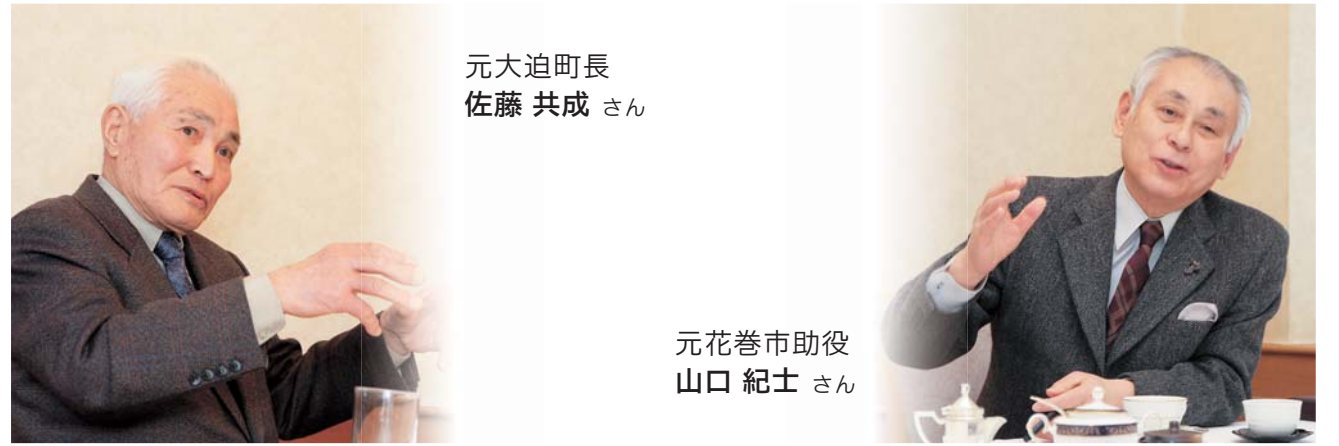


元東和町長
小田島 峰雄 さん

元石鳥谷町長
高橋 公男 さん



元大迫町長
佐藤 共成 さん

元花巻市助役
山口 紀士 さん

小田島 一昨年5月の日本創生会議のレポートでは、全国の半分以上の市町村が消滅の危機にあるということを示しています。現実には東和の人口は、昭和50～60年代の1万2千人が今は9千人です。人口減少対策は大きな施策だと思います。だからそこをきちんと対応すべきだと思いますし、ありきたりの行政施策では解決できないと思います。若い人たちの考えを聞くと、別な方式でも考えていかないと、この問題は解決できないと思います。ぜひとも市には積極的に対応していただきたいと思っています。

高橋 これからの、人口が減り、高齢化が進む時代は、いかにまちづくりを進めていくかというところがやはり大変重要なことだと思います。

小田島 まとまった話でなくとも、雑談の中からヒントが出

当然だと思います。

今後のまちづくりに向けて

考えれば、ただ大きくなればいいというものではないと思います。

山口 行政効率を良くするためには、ある程度コンパクトな方がいいといわれておりますよね。

高橋 広い市域で行政を進めることには目的があるわけですが、確かに細かいところまで見ていくことは難しい面もあります。これからの検証が必要ですね。

合併後の新しいまちづくり

亀澤 合併協議を経て新しく誕生した花巻市のこれまでのまちづくりをどのように感じてもらえますか。

高橋 旧3町地域には総合支所がありますが、それぞれ合併前から地域の拠点でありました。また、合併後のまちづくりの範囲をどうするかいろいろ議論しましたが、昭和30年代以前の旧町村単位程度がいいのではないかとということで、27のコミュニティ地区を単位

ることもあると思いますので、市長の足かせにならない程度に、これからお話をする機会をいただければと思います。

亀澤 市長はいろいろな方々からお話を聞くことが大切と考えており、積極的に地域に伺っております。これからもお話いただければと思います。

小田島 渡辺勉元市長さんは、確か最後の合併協議会だったと思います。あの時、すごい高熱が続いていたんです。最後の協議会で合併が議決されるのを確かめないと医者に行かないと言って、39度以上の熱があったんですが、会議に出られておりました。

高橋 今思えば、渡辺勉元市長さんの強い思いがあつて、われわれの先頭に立ってこま

合併を振り返り、最後に一言

にそれぞれ振興センターが置かれました。そして、地域づくりを地域自らに担っていただけたらということで、各コミュニティ地区に全体で2億円の財源が投入され、新しいまちづくりが動き出しました。

小田島 総合支所の権限が強化されてきていますが、結構なことだと思います。ある程度のことは支所に行けば解決される仕組みづくりは、これからは大事になってくると思います。それが、合併が正しい判断だったと思える近道でもあると思います。そして、意欲を持った職員が支所に配置されれば、お金がなくても工夫し、知恵を出して地域を盛り立ててくれるだろうと思います。

高橋 これまでの定員適正化計画は、職員を減らすというところで計画されていました。そのため、合併時1200人ほどであった職員が今は930人ほどになっていきます。しかし今後は、これからの時代を踏まえ、余裕のある定員で管理していかなければならないのではと思っています。

で引つ張っていただいたんですね。

小田島 渡辺勉元市長さんは、中心地の首長として一番ご苦労をかけてしまったと思います。今、この合併を振り返ってみますと、本当に1冊の本ができるぐらいの思いが私もあります。ただ、こうして紆余曲折を経て合併したのだから、この花巻がいい方向に行くこと、それだけを当時の首長として念じています。

佐藤 合併の選択が良かったかどうかはいろいろな見方があると思いますが、10年経っているわけですから、これからも前向きにどうしていけばいいか考えていくことが大切だと思います。

高橋 行政は常に動いています。合併当時の希望は忘れずに、さらに今まで築いてきたものを大切にしながらこの花巻をどうすればいいか真剣に考えていってほしいと思います。

亀澤 市の発展にこれからもお力添えいただければ幸いです。本日は長時間にわたりありがとうございました。

小田島 それぞれの地域には、培ってきた固有の文化がありますが、それを伸ばしていきけるようなバックアップ体制が必要だと思います。これからは、そのための人材の配置も必要になってくると思います。

高橋 それぞれの地域古来の文化を全て花巻市の財産として、育てていかなければならないと思います。ことしは早池峰神楽が国の重要無形民俗文化財に指定されて40周年です。すよね。

佐藤 そうです。記念の全国神楽大会を大迫で開催することです。

小田島 合併時に作った新市建設計画を10年間延長するそうですね。紆余曲折はありましたが、これからどう発展の軌道に乗せていくのかということとは大事な話です。そのためにも、新市建設計画の10年間延長というのは正しい判断だと思います。また、周辺部の方々が感じているような不都合、不具合といったことを解消する一つの手立てになるわけですから、市の姿勢として